

## 令和 3 年度 第 3 回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨

**日 時** 令和 3 年 10 月 11 日 (月) 14:00～16:00  
**場 所** 管理棟 2 階 小会議室  
**構 成 員** 8 名 (出席者 7 名)

(幹事会委員)

1 号委員 (がんセンター長)	増田 昌人
2 号委員 (沖縄県立中部病院)	朝倉 義崇
3 号委員 (那覇市立病院)	友利 寛文
3 号委員 (沖縄県立八重山病院)	菊池 馨
3 号委員 (北部地区医師会病院)	柴山 順子
3 号委員 (沖縄県立宮古病院)	松村 敏信
4 号委員 (琉球大学上原キャンパス事務部総務課長)	金城 不二子

(欠席者)

4 号委員 (沖縄県保健医療部)	糸数 公
------------------	------

(陪席者)

県立中部病院 放射線治療センター長	戸板 孝文
沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班	新垣 真太郎
琉球大学病院診療情報管理センター	有賀 拓郎
がんセンター	石川 千穂
上原キャンパス事務部総務課総務第二係	平良 英貴

**議事要旨・委員一覧**

1. 令和 3 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(7月12日開催)について
2. 令和 3 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(8月6日開催)について
3. 令和 3 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会議事録(8月6日開催)について  
増田議長から資料 1 から 3 に基づき、令和 3 年度第 2 回幹事会及び協議会について確認があった。
4. 協議会・幹事会委員一覧について  
増田議長から資料 4 に基づき、協議会・幹事会委員の変更等について説明があった。
5. 令和 3 年度の協議会・幹事会の開催の日時について  
増田議長から資料 5 に基づき、協議会・幹事会の開催の日時について確認があった。

**審議事項**

1. 第 3 次沖縄県がん対策推進計画 (2018～23 年) の進捗について  
冒頭で増田議長から、今回の資料の内容及び協議会本会議で審議する意義等について説明があった。  
①使用する資料は、第 3 次沖縄県がん対策推進計画 (2018～23 年) を、沖縄県が評価するための案を基に、本協議会の部会内で検討し意見を加えたものから 2 項目を用意した。  
②本審議事項は、あくまで沖縄県のがん診療連携協議会として、沖縄県のがん対策推進計画を確認するものであるが、本協議会で検討することで、委員各位に進捗状況を実感いただけるものになるのではないかと。  
③また、憲章に必要な指標について協議することで、より有効な資料としたい。  
\*資料のピンクのセルの箇所が県の第 3 次間対策推進計画の指標\*

## (1) 沖縄県における「医療提供体制」分野の進捗状況について

増田議長から、資料 6-1 に基づき沖縄県における「医療提供体制」分野の進捗状況について資料の説明があり、以下のとおり検討した。

(指標についての質疑・意見等) ※質問や意見を Q, 返答を A で記す。

Q1) 分野アウトカム 1 3 項目「5 年相対生存率肝及び肝内胆管(男女計)」で、大腸がんを除いた理由は何か? 県として、大腸がんへの取組に力を入れたので、結果確認のためにも指標化した方がよいのではないか?

A1) 5 大がんのうち、胃、大腸、乳は全国平均であったことから、肺と肝を選択した。意見を踏まえ大腸がんについても指標化を検討する。

Q2) 直接的な治療方法以外で、例えば地域連携、病病連携、病診連携、がん研究、ドラッグラグ、デバイスラグ、がんゲノム医療、臨床試験などの進捗状況等について、第 3 次医療計画開始年から現在まで、実感としてどのように感じているか?

A2-1) 4 年前との比較ではないが、離島においても医療を行う上では大きな不便を感じることはない。

A2-2) 当初、離島は連携の面では本島より進んでいたと感じていたが、この 4 年間で本島の状況も改善しているように感じる。

A2-3) 放射線治療が困難な地域の利便性の悪さを指標化するよりも、外科や内科、離島でのがん治療の数値の推移を確認・改善を目指す方が望ましいのではないか。

A2-4) 薬物療法において離島と本島での連携は概ね良好な状況であり、進展も見られる。ただし、人事異動等で専門性の異なる医師が離島派遣となった場合、現状を維持できないことも想定される。

A2-5) ある新しい治療薬においては、沖縄本島よりも離島の方が先行して使用したことから、ドラッグラグは大きく改善されていると思われるが、指標になるような資料は思い当たらない。

A2-6) 離島・へき地においても、地域連携は概ねよく出来ているように感じるが、指標化に有効な資料は思い当たらない。

A2-7) 連携はコロナ禍において後退しているように感じるが、指標になる資料は思い当たらない。

Q3) Q2wo 指標化するためには、どのような指標を用いることが望ましいか?

A3-1) 実感の指標確認として、分野アウトカム項目 1 (県全体) と項目 10 (拠点病院) の差を比較すると、拠点病院で治療を受けた患者の 5 年生存率が 5.8 ポイント延びていることに対し、県全体では 4.8 ポイントとなっている。この数値から拠点病院の成績向上が、県をけん引していると読み取ることはできないか。

A3-2) がんサポートの件数は指標になるのではないか。

A3-3) 地域連携パスは表にならなくなっている気もする。日本全体としても下火になっている。

Q4) 意味の無い指標と意味のある指標を検討する必要がある。

A4) 例えばある専門の認定を取得した看護師が病棟 1 名増えると良い意味で大きな影響があるが、単純に外科の専門医資格の数を比較することは意味が無い場合があるので、それら数値はかえって形骸化につながる恐れがある。

## (2) 沖縄県における「在宅医療」分野の進捗状況について

増田議長から、資料 6-2 に基づき沖縄県における「在宅医療」分野の進捗状況について資料の説明があり、以下のとおり検討した。

※在宅医療は、県の医療計画の別項目にもあることから、今回の提示する指標には、県が策定した「がん」、「在宅」の両方の計画から指標を作成したとの説明があった。

(指標についての質疑・意見等) ※質問や意見を Q, 返答を A で記す。

Q1) 離島・へき地ではどのような在宅医療の状況となっているか。

A1-1) 概ね希望通り、自宅に戻っていただけているという認識である。

A1-2) コロナ禍で三真美面会が制限されたことから、自宅療法に変更した患者が一定数あるように感じる。

A1-3) 北部では訪問ステーションが増えたことと、訪問介護の対応医師が高齢化していることが見受けられる。

Q2) 看取り患者数は「在宅」を測る指標になるか？

A2-1) 死因を「がん(関連)」とする計測は困難ではないか。

A2-2) 訪問診療医や訪問看護ステーション、看護師数等をカウントすることができれば、それを指標とすることはできないか。

A2-3) 診療報酬から、いくつか指標化できる項目がある。

## 2. 第3回沖縄県がん診療連携協議会議題調整について

増田議長から資料9に基づき、令和3年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議題調整について説明があり、原案のとおり議題とすることとなった。また、審議事項については、今回検討した内容を追加した資料へ変更し準備することとなった。

## 3. その他

特になし

## 報告事項

報告事項の確認に先立ち、増田議長から、新型コロナに対応すべく「WEBでセカンドオピニオン」対応又は準備している病院があれば知らせて欲しい旨の発言があった。

### 1. 患者会からの要望書に関する対応について

増田議長から進捗状況を報告する予定である旨の報告があった。

### 2. 第3次沖縄県がん対策推進計画(2018~2023)の中間評価について

沖縄県健康長寿課新垣氏(オブザーバー参加)から、第3次沖縄県がん対策推進計画(2018~2023)の中間評価について、当初9月に予定していたが、進捗が遅れている旨の報告があった。

また、増田議長から、本来の国の施策としては6年計画の3年目に中間評価を行うことで残り3年も改訂された指標で推進することを想定しているだろうことから、今後の展開としては、第4次計画も迫っていることから、まずは指標の見直しをしっかりと行うことを考えて欲しいとの発言があった。

### 3. 沖縄県におけるがん対策費について(平成28年度~令和3年度の予算及び決算の推移)

増田議長から、予算については、前回の報告と変更のない旨の説明があった。また、増田議長から、沖縄県に対し、県の計画に基づく予算配置を示していただきたいとの要望があった。

### 4. 患者会よりの報告

増田議長から、今回は2名からの報告を予定している旨の報告があった。

### 5. がん教育について

増田議長から進捗状況を報告する予定である旨の報告があった。

### 6. 北部地区医師会病院と琉球大学病院との定期的なカンファレンスについて

増田議長から、北部地区医師会病院と琉球大学病院の状況報告を予定しているとの説明があった。また、その他拠点病院間の状況についても報告いただきたい旨の発言があった。

### 7. がんゲノム医療について

増田議長から、琉球大学病院において9月から血液による検査が可能となったことを報告する旨の説明があった。

### 8. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

増田議長から進捗状況を報告する予定である旨の報告があった。

## 9. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

増田議長から進捗状況を報告する予定である旨の報告があった。

## 10. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田議長から、進捗状況について報告予定である旨の説明があった。また、今年度は沖縄県地域統括相談支援センター設立10周年であることから、ラジオ番組なので「がんピア相談」として広報展開している旨の案内があった。

### 11. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

- (1) 第17回厚生科学審議会がん登録部会
- (2) 第69回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会
- (3) 第5回全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会
- (4) 第33回がん検診のあり方に関する検討会
- (5) 第2回がんの緩和ケアに係る部会
- (6) 第2回第8時医療計画等に関する検討会

増田議長から進捗状況を報告する予定である旨の報告があった。

### 12. その他

増田議長から、議長本人ががん拠点病院の指定要件を検討する会の委員となっていることから、近日開催される指定要件において、今まで通りの大量な数値の確認等の作成するために労力を費やすががん診療を確認するための指標として有効でない項目を大幅に削減し、例えばQI指標など病院の特色を示すような内容や自由記述等を増やすことで、各拠点病院においてがん診療の状況改善の方策等を示すことができる様子を提案していきたいとの発言があった。

## 部会報告事項

1. 医療部会
2. 緩和ケア・在宅医療部会
3. 小児・AYA部会
4. 離島・へき地部会
5. 情報共有・相談支援部会

増田議長から、各自確認いただきたい旨、発言があった。

以上